

知的障がい研究会研修会

「ソーシャルスキルに問題のある生徒の実態と対応」

- 1 日 時 平成29年12月27日 午後1時～午後4時
- 2 場 所 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校 ランチルーム
- 3 講 師 国立成育医療研究センター こころの診療部
副院長 小枝 達也 氏
- 4 参加者 琴の浦高等特別支援学校職員、県内特別支援学校職員
県立高等学校職員
- 5 内 容

(午前中は、琴の浦高等特別支援学校の実情をお話し、本校の教育方針について御説明した。その後、課題のある生徒の指導について事例を挙げ、助言をいただき、今後の指導について様々な御示唆をいただいた。)

午後からは「ソーシャルスキルについて問題のある生徒の実態と対応」をテーマに講義をしていただいた。事前に参加予定者から可能な限りソーシャルスキルについてアンケートを取り、それを反映させた講義であったので、参加者の研修意欲も高まった。

「社会性とは何か」に言及しながら、情緒の発達や各種障がいの特性についても課題を挙げていっていただいたので、具体的で非常に理解しやすい内容であった。「社会性の発達」には「自己表現」「共感」「調整」が必要であることをお話いただき、「心の理論」を獲得するためのシステムについて科学的にもお教えいただいた。また、生徒にかかわる時のノウハウについても具体的にお話して下さったので、直ぐに指導に活かせる内容がたくさん盛り込まれていた。

最後に、「朝、起きること」「夜、眠ること」「お腹がすいたと感ずること」「家族と一緒に笑うこと」等、当り前のことを当り前に行うことのできるすばらしさについて話をされた。





研修会後のアンケートの集計でも、講義の内容も大変わかりやすく今後の生徒への指導の参考になったという意見が非常に多かった。また、今後もこのような研修会を琴の浦高等特別支援学校で開催をして県内の特別支援学校及び高等学校へ情報提供をしていきたい。